



Musashi RED Programs

2023 年度
参加者募集案内

学校法人 根津育英会武蔵学園

目 次

ご挨拶	1
RED プログラムとは	2
講師紹介	3
iPad の使用について	3
RED プログラム 2023-2024 について	4
イブニングプログラム	4
Basicコース «主に中学 1 年生対象»	4
Intermediate コース «主に中学 2 - 3 年生対象»	5
Completion コース «主に中学 3 - 高校 1 年生対象»	6
Advanced Program «主に高校 1 - 2 年生対象»	6
サマープログラム	7-8
RED プログラム卒業生からのコメント	9
申込み方法について	10
参加費について	11
プログラム開催地について	12
お問い合わせ先	12

■個人情報の取扱いについて

武蔵学園（武蔵大学、武蔵高等学校中学校）個人情報保護指針

本学園は、学生・生徒及び本学園に係わる方々の個人情報を保護するために、法令等を遵守し、指針を定め、個人情報を適正に取り扱うよう努めます。

1 個人情報の取得及び利用について

本学園は、適法かつ公正な手段によって、個人情報を取得し、利用目的の範囲内のみで使用します。

2 本人からの開示請求等について

本学園は、本人から自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止等を求められた場合、速やかに適正な対応をします。

3 個人情報の管理について

本学園は、個人情報を正確に保ち、安全に管理します。そのために、教職員、学生及び生徒に対し、研修・教育を実施し、個人情報の適正な取扱いを徹底します。

4 個人情報の第三者提供について

本学園は、法令に定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供しません。

5 個人情報保護規程等の策定、維持、改善

本学園は、この指針を実行するため、「個人情報保護規程」とそれに関連する規程を定めるとともに、個人データ取扱台帳を作成し、継続的に改善します。

学校法人根津育英会武蔵学園 理事長
学園長



池田 康夫 / 学校法人根津育英会武蔵学園 学園長

1922年に初代根津嘉一郎が我が国初の7年制私立高等学校である旧制武蔵高等学校を創設してから、2022年で100年になりました。その頃から、建学の三理想である『1、東西文化融合の我が民族理想を遂行し得べき人物 2、世界に雄飛するにたえる人物 3、自ら調べ自ら考える力のある人物』を育成すること』を掲げて、武蔵はこれ迄に数多くの有為な人材を輩出してきました。

急激に国際化が進んでいる現在、グローバルな視点で物を考え、政治、経済、科学などそれぞれの分野において、海外の人々とも十分にコミュニケーションが取れ、グローバルリーダーとなって活躍できる人材を育成することは我が国の急務であり、武蔵学園の大きな使命であると考えています。

武蔵学園ではその目標を達成する第一歩として、中高生を対象に、『英語で科学を学ぶ』イマージョン教育としてRED (Research, Essay, Discussion) プログラムを開設しました。

科学のいろいろなテーマについて、調べ、考え、論文にまとめる力を養うと共に、科学的な思考過程を身に付けるための英語プログラムを提供します。中学・高校で学んでいる英語を科学という興味ある学問の場で実践してみる良い機会にもなるでしょう。世界共通の言語である英語を習得する新しい試みとして生徒さんに大いに役立つプログラムであると確信しています。

授業は、科学のバックグラウンドを持つ外国人講師が担当します。講師は種々の工夫をし、生徒とのコミュニケーションを取りながら、英語で科学への理解を深めるよう授業を進めます。数学、物理、生物、化学、地学、天文学の他、医学、建築学、工学などに関連する様々なトピックスを題材に、生徒さんそれぞれが、自ら調べ、思考を巡らし、その結果を講師や仲間と英語で議論をします。それぞれのクラスには数名の外国人のティーチング・アシスタントがついており、授業を補助致します。このような「イマージョンプログラム」は外国語習得の効果的な方法として現在多くの国々で試みられています。

RED プログラムは武蔵高等学校・中学校の生徒さんに限らず、他校生にも門戸を広げ、参加を呼びかけています。このプログラムを通じて我が国から世界をリードする優秀な人材が数多く生まれることを心から期待しています。

RED プログラムとは

REDとは「Research, Essay Writing, Discussion」の頭文字を取ったもので、「三理想」を現代に生きる世代に向けて実践し、「科学的なものの見方」を育てます。受講生は世界共通の知の体系である「科学」を世界共通言語である英語で学ぶことを通じて、知性と教養を身に着けることを目指します。

9月開講のイブニングプログラムと、夏季に集中して科学探究の楽しみを体験するサマープログラムの2つのプログラムで構成されています。



◆REDプログラムではどんなことを学べますか？

REDの授業では、物理、生物、化学、医学、天文学などの様々な科学分野、さらに、科学者の伝記や科学技術について、順次、取り上げていきます。科学者の考え方、科学が社会に与える影響を学び、その学びを通じて、より広く科学について理解することができるようになるでしょう。イブニングプログラムは、「Basic」、「Intermediate」、「Completion」、そして「最上級コース」である「Advanced Program」の4つのコースがあります。「Basic」から「Completion」、そして「Advanced Program」へと進むにつれて、テーマをますます深く学習していくことを目指しています。

◆REDプログラムの授業と学校の授業の関係は？

REDの授業では、学校で学ぶ科学と英語を補完するプログラムです。生徒が学校の授業で学習したことがREDの授業の土台になっています。学校で学んだ内容を、講師や生徒同士で英語でのコミュニケーションを通してさらに発展させて学習することは、生徒たちにとって刺激的な経験となるでしょう。また、生徒それぞれが関心のあるテーマについて、じっくり取り組むこともできます。科学そのものを学ぶことにとどまらず、科学や技術に携わる人々や社会に与える影響などについて学ぶこともできます。

◆REDプログラムのティーチング・アシスタント

全てのクラスに、生徒5～6名に1名のTeaching Assistant (TA)がつきます。彼らは海外から日本に留学している大学院生や博士号をもった研究者などで、国籍も様々です。彼らからも直接科学や異文化を学べます。

◆What topics are studied?

Instead of dedicating one course to one topic, Basic, Intermediate, and Completion each cycle through many key areas related to science, such as: medicine, earth science, technology and invention, biographies of scientists, impact of science and technology. In this way, students come to appreciate science as a whole way of thinking, not just one subject. Of course, students will not repeat material when they progress from Basic to Intermediate, or Intermediate to Completion, and they will be expected to learn in greater depth with each year they continue.



◆How does RED fit into normal education?

RED classes complement the science and English that students learn in school. RED teachers build on the solid foundation that students receive in their daytime classrooms, while challenging them to expand on what they learn. Students also have a chance to explore aspects that they usually do not have time for in school. However, that might make a difference in the student becoming more interested in the subject. Sometimes, that means they learn more details about the science, but it may also mean they learn more about the people involved in the science, the technology that comes from the science, and the effect it has on business and society.

講師紹介



講師 ジェームス・カーサー James Cossar

トロント大学にて生物学を学び、外国人向け英語教育の経験豊富。日本の高等学校においても英語教育に携わる。Intermediate クラスを担当



講師 アレックス・ケマ Dr. Alex Quema

デ・ラ・サル大学（フィリピン）にて物理学専攻、大阪大学大学院で博士号取得。国際バカロレアの DP 認定校にて教鞭をとる。Intermediate クラスを担当



講師 タン・ダット・ブォ Dr. Thanh Dat Vo

ベトナム国家大学附属英才教育高等学校にて生物学と英語を専攻し、早稲田大学大学院で博士号取得。Basic クラスおよび Completion クラスを担当



講師 モハメッド・サルハン Dr. Mohammed Sarhan

東京大学医学系研究科で博士号取得。2023年2月時点、慶應義塾大学 健康マネジメント研究科（湘南藤沢）に在学中。Advanced Program を担当

iPad の使用について

本プログラムは、タブレット型コンピュータの iPad を使用します。予め、各自でご用意をお願いします。

iPad のタイプ（詳細は、ご受講決定後にご案内いたします。）

- Bluetooth が搭載されている iPad であれば問題ありませんが、なるべく新しいバージョンを推奨します。最新の iOS にアップデートできない場合、アプリケーションによっては全機能を使用できないかもしれません。
- 容量は、私用で動画や写真などを大量に保存するのでなければ、最少のもので問題ありません。
- 破損や傷等の防止のため、保護カバーの使用をお勧めします。



REDプログラム 2023-2024 について

【REDプログラムの構成】

① イブニングプログラム

9月から翌年6月までを1年とし、1学期(9月-11月)、2学期(1月-3月)、3学期(4月-6月)の3学期制です。週2回、放課後の6時半から8時半の2時間、江古田キャンパスで学びます。各学期の最終日には保護者の方も参観可能な発表会を開催します。

② 集中して科学の探求を楽しむサマープログラム

夏休みの5日間、集中して科学を学びます。世界最先端の研究を行う科学者の方の講義を受けたり、研究所や海岸などへショートトリップやフィールドトリップも予定しています。

2023年度は国内外で宿泊を伴うプログラムも予定（沖縄とアメリカ西海岸。参加時の学年が中学3年生以上）

【イブニングプログラム】 2023年9月－2024年6月

週2回放課後に武蔵学園江古田キャンパスで行うプログラムです。授業を担当するのはサイエンスのバックグラウンドがある講師です。また全てのクラスで生徒5～6名に1名のTeaching Assistant(TA)がつきます。講師は学期毎に科学領域のメインテーマを選び、生徒達に Research をさせ、Essay を書かせ、そして Discussion をさせます。

各コースの開講の曜日、時間は以下の通りです。

コース・プログラム名	授業日・時間	授業数
Basic/Intermediate	月・水 18:30-20:30	(1学期) 約20回
Completion/Advanced	火・木 18:30-20:30	(年間) 約60回

Basic コース概要

▶対象：主に中学1年生

▶定員：25名

（目標）科学に関する英語の基礎を身に付け、与えられたトピックを自分で調べ、それについて簡単な文章を英語で書き、基礎的なディスカッションができるようになることを目指します。

（授業）科学の幅広い分野をまず学びます。また科学者の伝記を読み、そこから科学の基礎的な考え方を知ります。その学びを通して生徒は自分が興味を持てる分野を探求します。

科学を直に感じ、さらに学びを深め、興味を持つような簡単な実験もします。

9月からの授業に先立ち、準備コース「Ready for RED Program」（8月21日(月)-8月25日(金)、5日間 9時-12時）を予定しています。



The Pre-Basic Summer Are required classes for all new Basic students. In the short program, the main goal is for students to get to know each other, their teacher, and their TA. Additionally, there will be many bilingual activities which will help students build a base of vocabulary and English sentences for starting the immersion program in September. There will be learning games, short science activities and lots of chances to meet and talk with friends.

In the Basic class, students begin their journey of science in English with bilingual assistance. During class time, there is always one bilingual TA who is there to help students find their way through instructions and new vocabulary. Special times are set aside in class for students to be able to ask clarifying questions in Japanese in the beginning. Those times get shorter and shorter as the first term moves on and students improve their fluency. As well, RED core texts include some bilingual instruction in clarification. Students build academic and scientific vocabulary by memorizing and using words, including in class games and activities. By the end of the year, they have a solid base for participation in immersion class activities.

Students learn the story of science and its methods, starting with the five senses, the importance of observation and technological tools. We will learn about the scientific method and the scientists who use it. Students will have chances to do their own hands-on observation experiments using many different materials, such as pocket microscopes and classroom microscopes. Students will learn about science by reading many English books and doing research on “kid-friendly” English internet sites. They have opportunities to make their own research choices from a wide menu of topics. They will learn and practice the skills for having lively discussions and techniques of writing academic English sentences about their scientific discoveries.



Intermediate コース概要

▶対象：主に中学 2-3 年生

▶定員：25 名

（目標）科学の知識を広げると共に英語の 4 技能の基盤づくりをし、さらに科学の分野を深く学ぶ力を身に付けます。

（授業）Basic と同様、様々な科学に関するトピックを英語で学び、知識と情報を多く身に付けます。科学に関する文章を読んだり、Essay Writing の基本の型を学び、その型をもとに論理的に自分の意見を書くことに挑戦します。プレゼンテーションの基本的な態度や型も修得し、各学期末の発表会では英語で発表も行います。

The Intermediate class explores a broad variety of topics in science, and answers questions such as “How do we know something is true in science?”, “How do scientists make discoveries?”, and “How are different areas of science related?” There will be opportunities for hands-on science demonstrations and mini experiments. Students will read many English books and build the skills of doing internet-based research in English from a variety of sources, including popular scientific journals and native level news sources. They will present their results by writing academic English paragraphs and participating in unscripted discussions.

Completion コース概要

▶対象：主に中学3-高校1年生

▶定員：25名

（目標）RED プログラム レギュラーコースの最終年度として、生徒は自分の興味あるトピックを自ら調べ、調べたことを自分の言葉で論理的に書き、仲間と議論をし、最終的に自分の言葉で発表できるレベルを目指します。

（授業）地球、原子、アルゴリズム、AI、微生物等、幅広い分野を学びつつ、英語と科学への興味を最大限に引き出していくように指導します。各学期、生徒は共通テーマについて英語で学習し、議論します。その後、個人のリサーチクエストを選び、英語で調べ、クラスメイトと英語でディスカッションするために準備をします。海外直接進学や進路に関する武蔵高校 OB や各国の公的教育機関による講義、英語検定試験説明会等、早いうちから海外雄飛に関する情報提供も行います。

The Completion aims to explore fundamental issues in science, such as “What is the basis of scientific knowledge”, “What is the difference between science and technology?”, “How is science used in society?”, and “What is the meaning of the new data and information technology for the future of science?” Students will read many English books at or near the age level of a native speaker. They build more rigorous skills of doing internet-based research in English from a variety of sources, including those written by scientists. They present their results by writing academic English essays and participating in unscripted, spontaneous discussions. Completion students also will have opportunities to interact with the Advanced class and participate in informative seminars about TOEFL, IELTS and entrance exams.

【RED Advanced program】 2023.9 – 2024.6 開講

▶対象：主に高校1-2年生

▶定員：15名

▶概要：英語で科学をさらに深く学びたい生徒、より高度な英語力を身に付けたい生徒、将来海外進学も考えている生徒、などを対象とした、RED プログラムの「最上級コース」です。

（目的）10年後、20年後に「世界の先駆者となれる人物」の基盤となる力を身に付けます。

（授業）数字やデータに基づく考え方を学び、様々な文献を読み、リサーチトピックを自ら調べ考え、決定。最終学期には、自分の興味ある分野に関して英語で論文を書き、発表を行います。

また以下の学びの場も準備します。

- ① 各分野のトップクラスの専門家による講演・ディスカッションの機会や、現役科学者による個別メンタリングなど、学術的(Academic)な材料、知的刺激を得る場
- ② 海外進学に関する実用的(Practical)な知識、情報の入手、リサーチスキルの習得

Students who want to polish their English skills further are encouraged to join the Advanced program, where they will challenge themselves to learn more deeply about their favorite branch of science. Advanced is a quantum leap above other RED courses. Students will learn to think like a scientist when narrowing down their topics of interest, and how to communicate this process to peers and other people.

Advanced students have mentors who are active research scientists and help students find their way through complex articles and webs of information. Over three terms, with the help of mentors and the advanced teacher, students will find a branch of science that they love, explore many topics deeply, make an original research question and show their findings. The Advanced program culminates in a long-term academic essay and presentation about their research that is on the level of native undergraduate research work.

【サマープログラム】

RED プログラムのサマープログラムは、フィールドトリップや様々なアクティビティも取り入れた普通の学校の授業とは違う体験型のプログラムです。生徒一人ひとりが自分の関心のあるテーマについて研究し、それぞれのプログラムの最終日に研究成果を発表します。

2023 年度は、沖縄へ行きマリンサイエンスを学ぶプログラム、またカリフォルニア大学バークレー校とスタンフォード大学を訪問するアメリカ・サンフランシスコ滞在のプログラム（10 日間）も開催します。

海外プログラムの募集締切は国内プログラムよりも早く 3 月 31 日（金）です。サマープログラムだけの参加も可能です。

プログラム名	対象	日程	内容
コース① Micro Plastics and Environment	主に中学 2～3 年	7 月 24 日(月) 〃 7 月 28 日(金) (5 日間) 10:00-16:00	海洋生物学と環境科学について学びます。海洋研究開発機構（JAMSTEC）の元上席研究員の指導のもと神奈川の海岸で MP 採取、調査をするフィールドトリップもあります。
コース② Cutting-edge Technology and Innovation	主に中学 3 年	7 月 31 日(月) 〃 8 月 4 日(金) (5 日間) 10:00-16:00	科学の「基礎研究」と「最先端技術」の世界を学びます。理化学研究所へのフィールドトリップもあり、世界の第一線で活躍する研究者たちから「最先端の研究」について直接講義を受けます。
コース③ 沖縄科学技術大学院大学 (OIST)でマリンサイエンスを学ぶプログラム <small>(株) JTB 川越支店の受注型企画旅行</small>	中学 3 年生以上	8 月 14 日(月) 〃 8 月 18 日(金) (5 日間) * 上記日程前に事前学習あり	沖縄科学技術大学院大学 (OIST)の協力のもと、サンゴ礁に関するフィールドワーク実施、深海に関する研究などマリンサイエンスをテーマに、現地実習も含めた研修を行います。
コース④ アメリカ西海岸のシリコンバレーで科学を学ぶプログラム <small>(株) JTB 川越支店の受注型企画旅行</small>	中学 3 年生以上	8 月 2 日 (水) 〃 8 月 11 日(金) (10 日間) * 上記日程前に事前学習あり	カリフォルニア大学バークレー校やスタンフォード大学や研究所や企業を訪問し、科学を学ぶ 10 日間のプログラムです。世界最先端の研究をする学者やエンジニア、そして現地の学生との交流も企画しています。

宿泊を伴う沖縄とアメリカのプログラムの主な対象は、プログラム参加時の学年が中学 3 年生以上です。

各プログラムのゲスト講師による講義の概要：

コース① Micro Plastics and Environment

「考えよう、海岸から地球の未来！」

元海洋研究開発機構上席研究員 加藤千明 Ph. D

毎年 800 万トンのプラスチックごみが海洋に流出しております。そのうち海岸に漂着して回収される海洋ゴミは、ほんの数%程度です。多くのゴミは最終的には深海に蓄積し、海洋の生態系に深刻な影響を及ぼし、温暖化問題と並んで地球の未来に暗い影を落としています。本講座では、海岸での調査と実験を通して今の海の現状を学び、未来の地球を考えます。さらに人工知能(AI)とコラボした、新しい海洋プラスチックごみ調査についても学びます。

コース② Cutting-edge Technology and Innovation

「脳の残り半分の正体：グリア細胞/Glia: The other half of brain」

理化学研究所 脳神経科学研究センター チームリーダー(Principal Investigator)長井淳 Ph.D

脳には少なくとも 2,000 億個の細胞が存在しており、互いを繋いで脳回路を作っています。そのうちご存知のニューロンの占める数は半分以下にすぎず、残り半分の細胞の研究は 100 年以上進んできませんでした。その歴史的背景、また近年興りつつあるグリア細胞の研究の隆盛について触れ、「脳研究の裏側」に触れてもらいます。

「細胞バンザイ」

理化学研究所専任研究員 松本健 Ph.D (武蔵高等学校卒業生)

生物の細胞の中では、それぞれの細胞がもつ遺伝情報をもとにしてタンパク質が作られ、生きるために大切な働きをしています。一方さまざまな化合物の中には、遺伝情報の発現やタンパク質の合成を阻害するものが数多く存在します。化合物によるこうした作用のメカニズムを探ることで、生物の謎の一端を明らかにしようとする研究を紹介します。

RED プログラム卒業生からのコメント

(武蔵高等学校 95 期 エディンバラ大学在学)

私は中学 1 年生の夏休みから 3 年強に渡って RED Program を受講していました。RED Program を通して学校で習った英文法をより確かなものとし、さらに学校の授業だけでは不十分なスピーキング・ライティングを強化できたことで、現在の英語力の基礎が築かれたと感じています。また英語で何かを学ぶという経験は、それまでに海外に在住したことがないながらも、現在の大学への進学を決意するにあたって大きな自信となりました。大学に進学してからも、日々の英語に RED Program での経験が役立っています。

(武蔵高等学校 96 期 南カリフォルニア大学在学)

武蔵中高卒業後、米国の南カリフォルニア大学でビジネスを専攻しています。在校生の 3 割弱が留学生なのですが、僕が日本でインターナショナルスクールではない学校に行っていたと言うと、帰国生でもないのにどうして英語ができるのか聞かれることがあります。そんな時に思うのは、RED プログラムに入って得た週に 4 時間も英語に浸かる 3 年間の経験の大きさです。みなさんも学校で学んだ英語をツールとして用い学ぶ環境をぜひ生かして世界に雄飛しうる人物になってください。

(筑波大学附属中学校 Long Bay College (Auckland, New Zealand)在学)

私は 2020 年からニュージーランドの Long Bay College に留学しています。将来は医療関係の仕事に就きたいので、科学を中心に勉強しています。RED プログラムには中学 1 年生から約 2 年間参加していました。英語で考え、リサーチし、プレゼンを作って、発表するという一連の流れを RED で繰り返し行ってきたことが、そのまま現在の学校での授業に繋がっています。また、RED で様々なバックグラウンドの先生や TA、クラスメイトとディスカッションする機会があったので、現地の多様なアクセントを理解することができています。今後留学を考えている皆さんにとって、RED は貴重な経験になると思います。

申し込み方法について

申し込みおよび選考

		日 程	内 容
イブニング プログラム	お申込み	4月15日(土) - 5月29日(月)必着	参加申込書(ホームページからダウンロードできます)に必要事項をご記入の上、「簡易書留」でREDプログラム事務局宛に郵送してください。
	選 考	6月10日(土) または 6月11日(日) 結果通知:7月初旬予定	受講の意欲などをみる目的で、作文*1の提出と模擬授業を受けて頂きます。その結果により受講の可否を判断します。選考の日時、結果の通知はメールで連絡いたします。
サマー プログラム	お申込み	4月15日(土) - 6月12日(月)必着	サマープログラムのみお申し込みの場合は、参加申込書に必要事項をご記入の上、作文*2とともに「簡易書留」でREDプログラム事務局宛に郵送してください。

*1作文は、BasicとIntermediateは日本語、Completionは日本語と英語、Advancedは英語になります。REDプログラムに新規に応募される生徒には、模擬授業と同じ日に選考会場にて、制限時間内で作文を書いていただきます。

*2サマープログラムの作文は日本語でお書きください。宿泊を伴うプログラム(沖縄・海外)は、申込者数が定員(20名)を超えた場合抽選を行います。海外は4月中、沖縄は6月中に参加者を決定し通知します。

申し込みに必要な書類

Musashi RED Programs 2023 参加申込書(所定用紙)

なお、2022-2023 イブニングプログラム受講生の方には、別途申し込みに必要な書類をご案内いたします。

申込書の送付先

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1

学校法人根津育英会武蔵学園内 「REDプログラム事務局」宛



参加費について

【サマープログラム】

プログラム	参加費	参加費納入期間
Micro Plastics and Environment	75,000 円 ^{*1}	7月8日(土)-7月22日(土)
Cutting-edge Technology and Innovation		

「沖縄科学技術大学院大学(OIST)でマリンサイエンスを学ぶプログラム」の参加費は、株式会社 JTB 川越支店の募集案内をご覧ください。

【イブニングプログラム】

プログラム	参加費 ^{*2}	参加費納入期間
Basic コース	340,000 円 ^{*3}	7月15日(土)-7月29日(土)
Intermediate コース	280,000 円	
Completion コース		

*1 参加費には、フィールドトリップの交通費が含まれています。

*2 すべてのイブニングプログラムの参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

*3 8/21~8/25 開催予定の準備コース「Ready for RED program」の参加費を含みます。Basic コースの受講生は、必ず受講してください。

【Advanced Program】

プログラム	参加費	参加費納入期間
Advanced Program	340,000 円 ^{*4}	7月15日(土)-7月29日(土)

*4 参加費には、教材費 10,000 円が含まれます。

参加費の納付

参加費の納付先は、選考後受講が決定しましたらご案内します。

上記納入期間にお振込みください。

- ◆ ご納付の参加費は、今年度初めて RED に入られる受講生のみ第 1 学期を「トライアル期間」とし、1 学期修了後に RED を退校する決断をされ 2 学期以降出校されない場合は 2 学期・3 学期分の参加費を返金いたします。それ以外のケース（2 学期以降に辞める場合、前年度から継続の RED 受講生の場合など）は返金いたしません。



プログラム開催地について

武蔵学園江古田キャンパス（東京都練馬区豊玉上 1-26-1）



- 西武池袋線「江古田駅」より徒歩 6 分
- 西武池袋線「桜台駅」より徒歩 8 分
- 都営大江戸線「新江古田駅」より徒歩 7 分
- 西武有楽町線「新桜台駅」より徒歩 5 分
- 中野駅より関東バス江古田駅行「江古田駅」下車徒歩 5 分
- 高円寺駅より関東バス・国際興業バス赤羽駅行「豊玉北」下車徒歩 5 分
- 目白駅より都営バス練馬車庫行「武蔵大学前」下車徒歩 0 分

■ お問い合わせ先

RED プログラム事務局

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

（開室時間 9:00～17:00 土日祝日休み）

TEL : 03-5984-4704

- ・プログラムに関するご質問は、RED プログラムホームページの問い合わせフォームにて、下記の QR コードまたはリンクからお送りください。



https://www.musashigakuen.jp/torikumi/red/toiawase_red.html

- ・今後の募集や説明会等に関する情報については、随時ホームページを更新していきます。こちらませひご覧ください。

